

## 情報ライフサイクル管理

的確な戦略によって、複雑化が進む環境に対応

情報ライフサイクル管理は、データアクセス/保持のニーズと各種の法規制準拠に対応するための、包括的な情報管理の取り組みです。SAPは、この取り組みを支援するツールとテクノロジーを提供しています。

情報には一定のライフサイクルがあります。情報は、データベース、リポジトリ、システム内で作成、保持、変更された後にアーカイブされ、最終的には破棄されます。包括的な情報ライフサイクル管理(ILM)戦略を策定するには、総所有コスト(TCO)、リスク、コンプライアンス間で一定のバランスを確保し、その後、企業全体の情報管理を強化する方法を定義し、文書化して、戦略にまとめる必要があります。こうすることで、アプリケーション、メタデータ、データ関連のポリシー/サービスレベルが適切に管理され、情報とビジネスプロセスが連携されます。

ILMのプロセスでは、データの把握/分類、データ用途を制御するポリシーの定義、ポリシーをデータに適用するためのシステム構成が行われます。その後、ITを活用して企業独自の情報管理戦略を展開します。このようにILMは、従来の情報管理戦略に、自動化と完全性という付加価値を提供します。

企業のデータ管理方法は、さまざまな要因によって大きく変化してきました。たとえば、自然災害、テロ攻撃、金融危機といった不測の事態は、消費者の個人情報およびプライバシー保護への取り組みを生むことになりました。このような状況を受けて、法規制の必要性も一気に高まりました。現在、世界中には電子データ処理に関する法規制が数千件存在しており、なお増え続けています。主な規制には、米国のSarbanes-Oxley(SOX)法、金融制度改革法(GLBA)、医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律(HIPAA)、EUデータ保護指令(EUDPD)などがあります。

情報の管理と保持がかつてない重要性を持つ現在、従来のアプローチによるデータ管理では、十分とはいえません。規制対象となるデータの種類は増え、その業種や国家の範囲も拡大し、適用期間も長期化しています。たとえば、訴訟関連文書の制約要件が定める文書保持期間は、英国、ギリシャ、北アイルランドなどでは6年、ドイツ、オーストリア、ベルギーなどでは30年以上と、データの種類によってさまざまに変化します。

効果的なILM戦略には、コスト、コンプライアンス、リスク関連の課題に対処するための全社的な戦略の策定が不可欠です。そこでSAPは、現在の企業が抱える複雑な情報管理のニーズに対応するILMアプローチを開発しました。

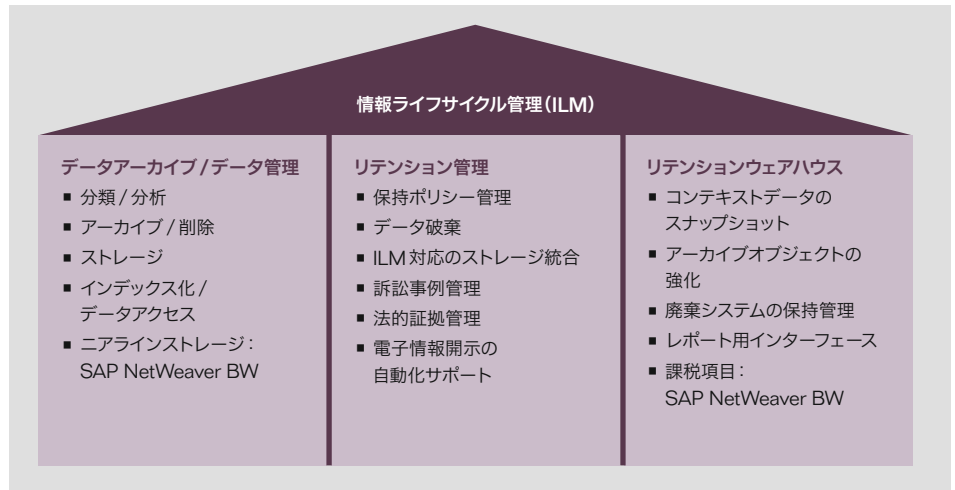
### SAPと情報ライフサイクル管理(ILM)

SAPは完全性、柔軟性、自動化を備える以下のようなILMアプローチによって、法規制の変化に対応する企業を支援します。

- データを特定/分類
- データ活用を制御するポリシーを定義
- アプリケーションとストレージ技術を通して、定義したポリシーをデータに適用
- 企業独自の情報管理戦略を導入



SAPの情報ライフサイクル管理 (ILM)はプロセスとテクノロジーの組み合わせを通して、データライフサイクル全体にわたって、適切な情報を、適切なタイミングで、適切な場所に、可能な限り低価格で提供します。ILMによって、自動化、完全性、柔軟性という付加価値が実現します。



図：情報ライフサイクル管理を支える基本要素

### 情報ライフサイクル管理 (ILM) の基本要素

SAPのILMアプローチでは、SAPのツールとテクノロジーを活用して、ビジネス上のさまざまなシナリオや課題に対処します。このアプローチは、図に示すように、増加するデータ量を抑制するための「データアーカイブ」、データの作成から破棄までのライフサイクルを管理する「リテンション管理」、レガシーアプリケーションやシステムの集約と破棄を可能にする「リテンションウェアハウス」という3つの基本要素で構成されています。

#### データアーカイブ

ILMは、データ作成および最初のデータストレージから、データの陳腐化や、法規制その他の法的要件が定める保持期限によってライフサイクルが終了するまで、情報システムのデータ/メタデータのフロー全体をサポートします。SAPのILMアプローチでは、データの分析および分

類を実行できます。また、SAP NetWeaver® テクノロジープラットフォームによって、ストレージ関連のプロセスだけでなく、企業データのあらゆる処理を自動化できます。

#### リテンション管理

SAPのILM向けツール/テクノロジーでは、保持ポリシー管理機能によって、データの作成、保持、破棄にわたる情報ライフサイクル全体をサポートします。これにより、データの格納場所、保持期間、削除期限などのさまざまな基準が反映された、複数の異なるルールやポリシーに準拠できるようになります。ポリシーは、通常、外部の法的要件や内部のサービスレベルアグリーメント (SLA) に基づき、紙文書を含むあらゆるタイプの媒体や構造化 / 非構造化データの両方に適用することが可能です。また、ILM対応のストレージ統合によって、ストレージシステムが保存データを認識および管理する場合に、定義したルールが確実に適用されるようになりま

す。そのほか、このSAP®ソリューションには、訴訟事例管理、法的証拠管理、電子情報開示の自動化をサポートする機能が含まれています。

#### リテンションウェアハウス

SAP NetWeaver Business Warehouse (SAP NetWeaver BW) コンポーネントの機能により、ILMウェアハウスに、監査/レポートの集中管理機能を追加できます。SAPのアプローチが提供する包括的なソリューションにより、元データが構造化された状態を維持したまま、ビジネスアプリケーションを集約することができます。このILMソリューションは、マスターデータとカスタムデータのアーカイブスナップショット作成、複数システムの横断的なアーカイブ、SAP NetWeaver BWによるアーカイブデータのオンデマンド分析などをサポートする、さまざまな機能を提供します。

## 情報ライフサイクル管理(ILM)の導入

ILMは、大規模なデータストアから1件の顧客情報まで、さまざまな情報を管理するための包括的なアプローチです。データ管理の問題に苦心している企業やIT環境の集中化を検討している企業は、最新テクノロジーの活用に基づくILM戦略を確立する必要があります。

ILMの導入は段階的なプロセスで構成されているため、1日の作業、または1部門による作業で完了することはありません。最初の重要なステップは、ILM導入の影響を大きく受ける部門間の継続的なコミュニケーションを促すためにILM担当チームを編成することです。このチームは、たとえば、法務部門、IT部門、財務部門の各担当者で構成します。さらに、企業トップの経営陣のサポートを得ることも、ILM戦略の成功には欠かせません。

導入は、段階的に進めるのが最も効果的です。そのため、既存のIT環境と現在のデータ状況を正確に把握することが重要です。また、カテゴリごとにデータを分類することも効果的です。ILMチームでは、法的要件、保持期間、その他の要因に基づく、ポリシーの一覧を作成します。

ポリシーを企業データに適用する段階では、ILMプロセスをサポートするためのテクノロジーを準備する必要があります。たとえば、ストレージシステムの設定では、ILM認定ストレージパートナーを選定する必要があります。ここで、それまでに策定した戦略やポリシーを導入する準備が整ったこととなります。

この時点で、全社的なILM戦略を実現に向けた一連の活動計画が完成します。もちろん、こうした活動やプロセスには、開始時期や終了時期が定められているわけではありません。これらを、より大きなILM戦略という枠組みの中で、情報管理ニーズの変化を取り入れながら実現していきます。

## 情報ライフサイクル管理(ILM)のビジネスケース

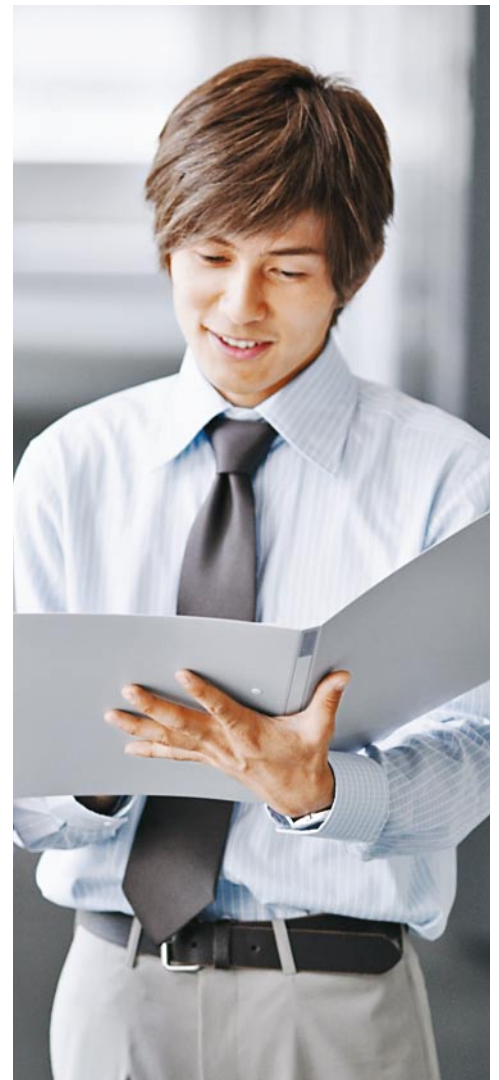
ILMを構成する3つの基本要素により、IT資産のTCO削減と、投資回収率(ROI)向上が実現します。

データアーカイブによって、データ量を制御して、以下を実現します。

- システムの可用性向上
- システムパフォーマンスの強化
- ディスク領域/ストレージ管理コストの削減：既存システムリソースの利用率向上

リテンション管理によって、信頼性と可視性の高いデータ破棄戦略を実施して、以下を実現します。

- 情報開示コストの削減：情報収集を効率化し、重要情報の非開示にともなう罰金を回避
- 不要な罰金費用の削減：重要データを誤って削除しないための対策を提供



リテンションウェアハウスによって、使用しなくなったシステムの保守を停止して、以下を実現します。

- 不要な時間とコストの削減：古いシステムの稼働を廃止
- ROIの迅速な向上：廃止するシステムをリテンションウェアハウスに集約することで、迅速にROIを達成
- 法規制コンプライアンスの強化：システム廃止の影響を受けることなく、重要情報を継続的に活用

さらに詳しい情報は

SAPが提供するILMツールおよびテクノロジーの活用方法の詳細については、SAP担当者にお問い合わせいただくか、以下のWebサイトをご覧ください。

<https://www.sdn.sap.com/irj/sdn/ilm>

# ソリューション概要

SAP ジャパン株式会社

本社 〒100-0004

東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル

TEL 03-3273-3333 (代表)

<http://www.sap.com/japan/>

## サマリー

SAPの情報ライフサイクル管理向けツール/テクノロジーを活用することで、データ保持、データ破棄、各種法規制遵守のニーズに対応できるようになります。

## 課題

- 急増する電子データ処理関連の法規制への対応
- 従来のデータ管理テクノロジーでは、現在の企業ニーズに対応できない
- 複雑化、国/地域の多様化、データ型の増加、保持期間の長期化など、変化を続ける法規制への対応

## サポートされるビジネスプロセスとソフトウェア機能

- **ガバナンス**: 属性や分類(コンプライアンスのために保持すべきデータなど)に関するポリシーを決定/適用
- **データ管理**: データの分析、データ型の特定、属性の定義
- **IT管理**: アーカイブ、移行、削除、データアクセスを自動化
- **リテンション管理**: 作成、保持、破棄にわたる包括的な情報ライフサイクルをサポート

## ビジネスメリット

- **生産性の向上**: ストレージ関連プロセスだけでなく、企業のデータ処理のあらゆる処理を自動化
- **TCOの削減**: ハードウェアコストと管理コストを削減しながら、リソースの使用を最適化
- **法的要件と内部のサービスレベル契約の遵守**: 導入されたストレージシステムでは、定義されたルールに基づくデータ認識/管理が可能
- **リスクの削減**: バックアップとリカバリーの迅速化により、システムの可用性を向上
- **柔軟性の維持**: 絶えず発表される新たな法規制や要件に対応

## 詳細

SAPが提供する情報ライフサイクル管理向けツールおよびテクノロジーの活用方法の詳細については、SAP担当者にお問い合わせいただくか、以下のWebサイトをご覧ください。

<https://www.sdn.sap.com/irj/sdn/ilm>

49009303J (SE/09/05)

© 2009 SAP AG. All rights reserved. SAP, R/3, SAP NetWeaver, Duet, PartnerEdge, ByDesign, SAP Business ByDesign, および本書に記載されたその他のSAP製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、ドイツおよびその他の国々におけるSAP AGの商標または登録商標です。

Business ObjectsおよびBusiness Objectsロゴ、BusinessObjects、Crystal Reports、Crystal Decisions、Web Intelligence、Xcelsius、および本書で引用されているその他のBusiness Objects製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、米国およびその他の国々におけるBusiness Objects S.A.の商標または登録商標です。Business ObjectsはSAPのグループ企業です。

本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。本書に記載されたデータは情報提供のみを目的として提供されています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書の内容は、予告なしに変更されることがあります。また、これらの文書はSAP AGおよびその関連会社(「SAPグループ」)が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAPグループは文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAPグループの製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。